

4/26/2020 YouTube Live 原稿

タイトル：使命の瞬間再起動

聖書朗読（イザヤ書 60 章 2 節）

ネット礼拝の HP に表示されている。

イザヤ書 60 章 2 節のみことばをお読みします。

先週もこのみことばを HP に書かせて頂きました。

聖書をお持ちの方は、旧約聖書のイザヤ書 60 章をお開きください。

イザヤ書 60:2 見よ、闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で 主の栄光があなたの上に現れる。

## 緒論

みことばの前半、「闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでいる。」と、後半、「あなたの上には主が輝き出で 主の栄光があなたの上に現れる。」の二つに分けてお話をします。

はじめに、国語の勉強の様ですが、ことばの学びをしましょう。

前半は、「闇」「暗闇」という、ネガティブなことばがあります。一方、後半は、「輝き」「栄光」と、ポジティブなことばがあります。

闇、暗闇、輝き、栄光は、ネガティブとポジティブに区別できる名詞です。

前半と後半の動詞は何でしょうか？

前半は「包む」、後半は「現れる」です。

皆さんは、何に包まれますか？あるいは、今、何に包まれていますか？

旧約聖書、詩 147:3 には、

「主は心の打ち砕かれた者を癒やし彼らの傷を包まれる。」と書かれています。

新約聖書では、I テサ 4:17 に、「それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」と書かれています。

詩編 147:3 は、慰め、回復のメッセージです。テサロニケ 1 の 4:17 は、主の再臨のときに、人類史上に、ただ一回だけの出来事、私には、想像できないのですが、不思議な「雲」、アメーzing・クラウド、に包まれて、主と出会う体験をするクリスチャンがいることを語っています。

「現れ」の方は、旧約では、最初に、創 1:9 神は仰せられた。「天の下の水は一つの所に集まれ。乾いた所が現れよ。」すると、そのようになった。

新約聖書では、マタ 1:20

彼がこのことを思い巡らしていたところ、見よ、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフよ、恐れずにマリアをあなたの妻として迎えなさい。その胎に宿っている子は聖霊によるのです。

「現れ」ということばは、聖書の中に 191 節もあります。このような、聖書のことばの研究は、ワード・スタディーと言いますが、昔は、このような分厚い聖書語句辞典を使ってその個所をメモして、時間をかけてしていました。

でも、今は、無料のアプリ YouVersion で、簡単に、ワード・スタディーをすることが出来ます。週日、霊的なエクササイズに、YouVersion で、ワード・スタディーをなさることをおすすめします。

## 背景から 2 節 前半

さて、話を戻しましょう。

このみことば、イザヤ書 60 章 2 節の背景を簡単に話しておきます。

イスラエルの民の不信仰により、ソロモンによって築き上げられた神殿は、崩壊し、その機能は消滅しました。イスラエルの人々は、バビロンに連れてゆかれました。

エルサレムからバビロンの直線距離は、約 800 キロ、東京と札幌の距離と同じです。

「何でこのようになってしまったのか」、このネガティブな状況の中で、当時の人々は、考え続けました。その答えを見出し、ネガティブがポジティブに完全移行するには、1 年、2 年、5 年、それとも、40 年、・・・聖書は、約 70 年の時が必要であったと記しています。

この期間に、イスラエルを捕囚した、バビロン帝国にかわり、ペルシア帝国の時代になりました。

ペルシア帝国については、歴代誌 2、エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記、エゼキエル書、ダニエル書をお読みなされた方は、よくお分かりのことと思います。

この当時の世界の国々の人々は、終わりのない戦いに疲れ果て将来に希望をもつことが出来なくなっていたのです。

中国の春秋時代、日本の戦国時代のような様相で、人が人を裏切るのは当たり前、混乱の時代であったと想像することが出来ます。

人々は、希望を見いだせない、出口の見えないトンネルの中で、不安と恐怖に、包み込まれていたことでしょう。

正に、このような時に、預言者がみことば、「しかし、あなたの上には主が輝き出で 主の栄光があなたの上に現れる。」をイスラエルの人々にだけ、発したのです。

50 年以上も時が流れているわけですから、捕囚の生活に慣れ、イスラエル民族の使命を忘れかけた人々もいたかもしれません。

前半の「闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでい

る。」は、当時のイスラエルの人々が、確かに、実感したことを物語っています。

今、私も皆さんも、現実には包まれている、新型コロナウイルスの暗黒とすることができるかもしれません。姿の見えない暗黒に包まれて、人々が不安の虜になりつつあります。

## 2 節 後半 『使命の瞬間再起動』

しかし、後半の預言者のメッセージは、「あなたの上には主が輝き出で 主の栄光があなたの上に現れる」、このメッセージです。

この「あなた」とは、預言者でしょうか？ それとも、別の誰かでしょうか？

60 章 14 節に、その答えがあります。聖書を開いている方は、14 節に目をとめてください。お読みします。

60:14 あなたを苦しめた者たちの子らは、身をかがめてあなたのところに来る。あなたを侮った者どもはみな、あなたの足もとにひれ伏して、あなたを『【主】の都、イスラエルの聖なる方のシオン』と呼ぶ。

この「主の栄光があなたの上に現れる」の「あなた」は、「主の都」であることが分かります。預言者イザヤの時代、主の都の神殿は壊され、人々は捕囚の状態にありました。イスラエル民族を召し出した主なる神への礼拝は、侮られていました。

主の栄光は、姿を消していました。

このような状況の中で、預言者は、「主の都」の壮大で不思議な回復を語ります。60 章 19 節です。お読みします。

60:19 太陽はもはや、あなたの昼の光とはならず、月の明かりもあなたを照らさない。【主】があなたの永遠の光となり、あなたの神があなたの輝きとなる。

強力な太陽光線、夜空を煌々と照らす満月の輝きでもない、主からの光、輝き、栄光が、イスラエ

ル民族の上に、まず、最初に、「現れる」というのです。

この壮大で世の常識を超えた、不思議な回復のメッセージは、当時のイスラエルの指導者たちに、主から与えられたイスラエル民族の使命を瞬間沸騰させたと、私は信じて、「アーメン」ということが出来ます。

勿論、笛を吹いても踊らない冷めたイスラエルの指導者たちもいたことでしょう。

今まさに、世界中の国々のリーダーたちが、その使命に立って、闇に包まれている人々の不安を消し去るために奮闘しています。命を救う現場には、懸命に働く医療従事者もおられます。特効薬の研究開発をしておられるかもおられます。

一人一人が、置かれている立場で、新型コロナウイルスと戦っています。

イザヤ書 51 章 1 節には、クリスチャンの使命を再起動させるメッセージがあります。お読みします。

イザ 51:1 「義を追い求める者、【主】を尋ね求める者よ、わたしに聞け。あなたがたが切り出された岩、掘り出された穴に目を留めよ。」

使命を瞬間的に再起動することのできたイスラエルの指導者は、普段から、「義を追い求め」、「主を尋ね求め」、そして、「主に聞く」こと

が、当たり前の人であったことは、このみことばからすぐに読み取ることが出来ます。

#### 例話・まとめ 『使命の瞬間再起動』

車で移動中に、ラジオではっとさせられるニュースを聴きました。

M というアウトドアのテントのメーカーが、テントを作る素材で、医療現場に防護服を無償提供する、というニュースでした。

この会社の T 会長は、「現場を守るためにうちができることをやる」という、この時でなければ出来ない、新しい社会的使命を自覚させられ、そして、その行動を起こしました。

正に、「使命の瞬間再起動」とぴったりの話ではないでしょうか。

国々が、闇に包まれるなか、神に選ばれ、使命を瞬間的に再起動することのできたイスラエルの指導者の心には、「義を追い求め」、「主を尋ね求め」、そして、「主に聞く」ことが、根付いていたと、先ほど、イザヤ書の 51 章 1 節からお話をしました。

イザ 51:1 「義を追い求める者、【主】を尋ね求める者よ、わたしに聞け。あなたがたが切り出された岩、掘り出された穴に目を留めよ。」

T 会長は、国難の中、新しい使命を瞬間に悟り、人生をリセット、再起動させました。

私達も、このような時だからこそ、今回のみことばに应答して、それぞれの「使命」を再起動させ進んでまいりましょう。

イザヤ書 60:2 見よ、闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでいる。

しかし、あなたの上には主が輝き出で 主の栄光があなたの上に現れる。

皆さん上に、また、ご家族の上に、主の栄光が現れますようにお祈りを致します。いつも、主の暖かで穏やかな輝きで包まれてまいりましょう。